

みなさんの考えシート(まとめ)

【質問】

青梅市のこども条例に入りたい文を書いてみよう

【回答】

- 大人、子どもと区別しないで意見や思いを受け止めて、お互いの意見を交換したい。
- ひとりひとりを見てほしい。
- 周り比べ内、1人の人間として認めてほしい。
- 一人一人の個性を大切にしてほしい。
- 自分のペースで学びたい。(休みたいと思った時には休めるように、他の人と比べたりしないで自分のペースで。)
- 青梅市にも遊べる場所が必要
- 大人目から外れる。子どもだけの集会場。子どもの力を信じてほしい。
- 子ども達がより芸術的な活動に取り組める場所が必要だ。(自由に取り組める)
- 子どもの自己表現を抑圧することはあってもならない。(お金があるとかないとか、親の理解があるかないかで差別されないでやりたいことができる環境を求めている)
- どんな道を選んでも、応援してほしい。(はじめからできないと決めつけてほしくない。まずやってみたい。挑戦したい。)
- 失敗しても私たちにとっては宝物だから、責めてほしくない。
- 大人が子どもの未来を潰すんじゃなくて、未来を作る手助けをしてほしい。(自分にできることはやるけど、ひとりでできない事は手伝ってほしい。)
- 学校とか他の場所で大人と子ども両者が楽しめる行事的なことをやってほしい。
- 得意なこと好きなことに思いっきり熱中したり、友達とおしゃべりしたりできる場所をつくってほしい。
- 私たちのことを1人1人の子どもとして見て考えてほしくない。(ひとりひとりと向き合ってよく見てほしい)
- 道、遊び場でごみを捨てない。
- 得意なこと(芸術的なことでも、音楽とか絵とか)を活かしたり、リラックスできたり友達と遊べるような安心できる場所がほしい。

- 私たち1人1人の夢や考えを受け入れて、応援してほしい。
- (学校で)得意なことを活かせる場を大人がもうける。(小さい頃から自分が一番、もしくは自分が中心となって活動する場がないと自分を表現するために非行に走ってしまうと思う。現状は、スポーツ、勉強、委員会しかないのでは、もっと表現できる場を設けるべき。例えば、多様な経験の体験、音楽系が少ないのでは、、、高額な学費の心配ないようになる)
- 子どもを誰1人取り残さず、幸せに生きて行けるように支える。
- (保護者が子どもを)放置したり過干渉せず、子どもの選択を支える。(保護者が相談できる場所など)
- (子どもも大人も)子どものプライバシーが守られるまち(プライバシーに関する教育をする、SNSで広がってしまった、いじめにも繋がってしまう。)
- こどもが安心、安全に生活できるよう、大人だけでなく、こどもの非行、犯罪に対しても厳しく取り締まってほしい。(少年法でとりしまりが甘いと感じる、2度3度くりかえすことのないような環境になってほしい。)
- 個性を受け入れ認めてほしい。(受け入れて、よりよい、正しい道へ導く)
- 子どもの意見を聞き、尊重し、挑戦できる環境をつくる。
- いじめや差別が無く、一人一人が自分らしく生きていけるまち(SNS、言う人が相手が傷つくと思っていない。)
- 子どもの意見を聞き入れ、受け入れる。
- 比べることなく1人ひとりの子どもを尊重する。
- 犯罪がなく、誰もが過ごしやすい安全で安心なまち。
- スクールカウンセラー利用しづらい。あっても利用できない。まわりから見られたくない。そもそも部屋にいない。担任の先生より話しづらい。
- 家や学校以外で安心できるような場所を増やしてほしい(夜も)
- 子どもの意見をただ否定するんじゃなくて理由を聞いてほしい。
- (家庭内で)どんなことも否定しないで受け入れ、認めてほしい。
- この条例は1年に1度、条文を追加したり減らしたり内容を変えるための話し合いをする。
- 子供が不登校になる理由に大人がなってはならない。
- 自分の意見を伝えやすい環境をつくる。
- 外見だけでは分からない個人の特性を、大人は何も考えずにきついことを言わないでください。理解してください。
- 誰に対しての条例なのかを忘れない事。大人が考えた子供に対する条例

であってはない。子供と大人が考えた子供に対する条例になるようにする。

- (子どもの将来とかを)大人は勝手に決めないで、話し合い、応援してほしい。